

高野山大学図書館・光明院文庫蔵典籍文書目録（五）

武内孝善編

凡例

- 一、本目録は、高野山大学図書館に蔵する光明院文庫の典籍文書の全部について、その書名・書誌的概要・識語などを記録した総目録である。
- 一、光明院文庫蔵の典籍文書は、現在、十五の木箱に収められ、保管されている。
- 一、本目録は、『高野山大学論叢』第四十卷（平成十七年二月刊）・第四十一卷（平成十八年二月刊）・第四十三卷（平成二十年二月刊）・第四十四卷（平成二十一年二月刊）の続篇であり、第十一箱分を収録した。
- 一、既刊分に収録した箱番号を記しておく。
 - ・光明院文庫蔵典籍文書目録（一）……第一・二・三・五箱
 - ・光明院文庫蔵典籍文書目録（二）……第四・六・七箱
 - ・光明院文庫蔵典籍文書目録（三）……第九箱
 - ・光明院文庫蔵典籍文書目録（四）……第八箱前半
- 一、本目録の記載内容などは、（二）に準拠しているので、そちらをご覧いただきたい。
- 一、本目録は、講義の一環として、学部生・大学院生に調書作成をお手伝いいただいたものが基礎となつてゐる。その後、いま一度原本にあたり、調書の不備をできる限り糾すよう心がけた。とはいえ、不備・不統一な点が少なからずあると思われる。大方のご示教をいただいて、以後も手を加え、完成度の高いものになりたいと考える。
- 一、ここに、調書作成をお手伝いいただいた方の氏名を記しておく。
 - ・聴講生……鶴 浩一 ・大学院生……太田勝彦、蒲地和憲、清水明澄、遠山典男、
- 一、この目録を作成するにあたり、貴重な典籍・文書の閲覧調査、並びに目録の公開をお認めいただくとともに、種々ご配慮いただきました武内孝善前図書館長・下西 忠図書館長をはじめ、図書館員の方々に甚深の謝意を表します。

第十一箱

1—1、東寺拝堂日記

康永四年 三月廿日 榮海

一冊

11光・ト・1—1

〔外題〕 東寺拝堂日記

康永四年 三月廿日 榮海

*表紙右上に「事相部 第十一函 光明院藏書」のラベルを貼付す。以下「ラベルあり」と記す。表紙右下に「僧正永愿」の墨書あり。また、表紙見返し右下に「高野山大学図書館

印」の朱方印あり（たて二・一糎、よこ二・一糎）。全典籍にあり。以下記さず。

〔共紙表紙外題〕

東寺拝堂記

長者大僧正榮海

〔内題〕

東寺拝堂記

*内題下に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり（たて三・四糎、よこ二・二糎）。

〔尾題〕

なし

〔奥書〕

応永廿二年九月四日於東寺佛乘院南軒以

慈尊院僧正榮海自筆記寫置之了

権少僧都宗源

八冊

ㄥ 21表

此記一帖不思議也□□□□一覽之後

率書之写留之了感悦多端云

明暦四年孟夏上旬 法印真源

一匡合訖

本云

一日過于宝嚴院法印真源之蜜院塵譚

時移之次出一件冊子被令見之則卷之

尊

舒之心甚境為至要之記則候前法務寛一

前達高胗之處御盛不斜 遂被借用

命予被令繕写記寔門室之其珠後

葉之規矩又何有乎

ㄥ 25裏

万治元潤臘初四於勸修寺長史

御前閣筆夜正三更雪満四隣

佛子榮佐

「26表

〔墨点〕 仮名、校合註、傍註、

〔朱点〕 合点、項目の頭の丸、

袋綴装、江戸前期・万治元年（一六五八）写、楮紙、たて二七・二糎、よこ二〇・二糎、半丁九行、一行二〇〃二三字、墨付き 二六丁、表紙とも 二八丁、紺色表紙、原装、

1-2、榮海拝堂記 康永四年

一冊

11光・エ・1-2

〔外題〕 康永四年／榮海拝堂記

〔内題〕 拝堂日記康永四年三月廿日

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 右慈尊院僧正榮海拝堂記

以彼自筆書写之了

永和二年九月日

権大僧都義實

〔朱書〕 「本云」

應永四年乙卯九月下旬於當寺報恩院弊

坊一見之次以増長院法印義實本写留也□

我二位僧都□道賜之故也近日當寺座主拝

堂再興之□□有之仍東寺拝堂之儀聊

相尋之次借渡此記了可秘藏也

東寺二長者□

朱器无隨身仍以墨写點了

「29裏

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

*内題下に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

右以水本之本書写之了

「 30 表

〔墨点〕 仮名、校合註、合点、

〔朱点〕 仮名、校合註、合点、項目の頭の丸、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸時代初期写、楮紙、たて二二・三糎（三〇丁のみ、たて二一・六糎）、よこ二五・五糎、半丁六行、一行二七・一三字、墨付き 三〇丁、表紙とも 三三丁、表紙（黄色）、原装、

1—3、長者拝堂記 大僧正義 至徳二年 一冊 11光・チ・1—3

〔外題〕 至徳二年 長者拝堂記 大僧正義

〔共紙表紙外題〕 長者拝堂記

〔内題〕 御拝堂略記

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 已上両ヶ拝堂以経助僧都所記置

写之了但或改前後或直文言了

雖然梗概無異矣

至徳二年三月廿五日

権少僧都宏壽^{生年三十九}

「 12 表

本云

天文三年三月日任本書写之

以他本不審等可遂校決者也

法印嚴助

「 12 裏

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、

袋綴装（四針眼訂法）、室町後期、天文三年（一五三四）写、楮交じり斐紙、たて二七・二糎、よこ二〇・二糎、半丁一〇行、一行一七・一九字、本文 一二丁、表紙とも 一五丁、表紙（焦げ茶色）、原装、

1-4、東寺長者拝堂記

僧正實順

応永廿二年
八月廿八日

一冊

11光・ト・1-4

〔外題〕

僧正實順 東寺長者拝堂記

応永廿二年
八月廿八日

〔共紙表
紙外題〕

加任 東寺長者拝堂記

応永廿二年
八月廿八日

〔内題〕

東寺拝堂日記

長者勸修寺慈尊院僧正實順子時加任
第三長者

*内題下に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

〔尾題〕

なし

〔奥書〕

永享七年三月日注記右先度記

置之間今度大旨斗注之其余存

略了凡彼院家御拝堂奉行事

栄海僧正一長御拝任御拝堂之時當坊院主

*12丁裏

法印杲宝致奉行云

順

実一 大僧正之御時又

先師僧正又以存知今度予 無才而

塵先師之跡依之當代又非致奉行

居凡僧別当超職先師兩三代不居

當職依為末代冷落□乎可

慎、矣予歷當職事既以四

ケ度也

此注文重而忠心

可令清書

*13丁裏

〔墨点〕

校合註、傍註、抹消の棒線、

袋綴装（仮綴）、室町初期・永享七年（二四三五）写、楮紙、たて二五・八糎、よこ二〇・七糎、半丁九行、一行一八字、墨付き 一三丁、
表紙とも 一四丁、裏文書（仮名）あり、表紙（黄土色）、原装、

1—5、三箇古事并拝堂記 御室真光院大僧正禪信 永享六年 一冊

11光・サ・1—5

〔外題〕 永享六年 三箇古事并拝堂記 御室真光院大僧正禪信

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 なし

*内題下に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 寛永十七年四月一日御所御本申出之

書写了 當寺諸院家長者拝堂記至于

今此記之外無所見之間尤大切之事歟

仍為未來龜鏡奉進覽真光院門跡了

但當時御経藏無之間可致願主梅尾中坊當寺心蓮院
管領寺也

経藏者也細々不用之本故也是則為久住也 是小僧

小志之所及也

金剛佛子 顯證四十

御本雖無之少々加点了為令読易也尤有恐事也云々

此記依永愿法印然□染□筆進覽事

□忿之節 殊以卒書之外見恐□穴賢々々

明曆四年卯月十七日 法印真源

〔墨点〕 仮名、返点、傍註、

〔朱点〕 合点、傍注、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期・明曆四年（一六五八）写、楮紙、たて二九・六糎、よこ二〇・一糎、半丁九行、墨付き 二三丁、表紙

とも 二六丁、表紙（黄色）、原装、虫損大、

1—6、東寺拝堂記 安井門跡大僧正性演 寛文十二年三月十五日 一冊

11光・ト・1—6

〔外題〕 寛文十二年三月十五日 東寺拝堂記 安井門跡大僧正性演

*表紙右上に「万」の朱書 右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 なし

*巻首に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二八・八糎、よこ二〇・五糎、半丁 八行、一行 一八〇二字、墨付き 八丁、表紙とも 一一丁、表紙（黄色）、原装、

1-7、別當方記 三宝院持嚴寺務 永正五年

一冊

11光・へ・1-7

〔外題〕 永正五年 別當方記 三宝院持嚴寺務

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

共紙表紙右下に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

〔内題〕 東寺々務并別當方記 俊雄

寺務并法務以下口宣案

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

袋綴装（五針眼訂法・縦帳）、江戸前期写、楮紙、たて二五・一糎、よこ二〇・〇糎、半丁一〇行、一行一七〇二五字、墨付き 八丁、表紙とも 一一丁、訓点なし、表紙（黄色）、原装、

1-8、三箇吉事日記 延宝二年

一冊

11光・サ・1-8

〔外題〕 延宝二年 三箇吉事日記

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 延寶二年三月十六日（雲少降雨
巳ノ下刻より晴）

*1丁表。巻首に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

法務僧正三ヶ吉事覚

於東寺佛乘院客亭被行之

三ヶ吉事覚

*11丁表

惣在應威儀師江 下知之案内状覚

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二・六糎、よこ一五・五糎、半丁五〇六行、一行二二字、本文 一三丁、表紙とも 一七丁、表紙（黄色）、原装、

1—9、一長者寺務 永愿 宣下消息等日記 重本 寛文十三年 一冊 11光・イ・1—9

〔外題〕 寛文十三年 一長者寺務 永愿 宣下消息等日記 重本 *表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 寛文十三年 東寺寺務之事

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、校合註、

〔朱点〕 傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二・〇糎、よこ一五・七糎、半丁八行、一行二二〇一八字、本文 二〇丁、表紙とも 二二丁、表紙（黄色）、原装、朱書の付箋あり（たて一一・〇糎、よこ三・四糎）。

1—10、拝堂略記 重本 一冊 11光・ハ・1—10

〔外題〕 重本 拝堂略記

〔内題〕 御拝堂略記

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 以上両ヶ度拝堂以経助僧都所記定写之

了但或改前後或直文言了

雖然梗概無異矣

至徳二年三月廿五日

権少僧都宏壽^{生三十九年}

本云

天文三年三月日任本書写之

以他本不審等可遂校決者也

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

*内題下に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

法印嚴助

寛文元年六月八日夜子刻書写畢

随分以強性写晋者也後世君子

蚩雪勤續不可怠者歟

□某

仏乘院以自筆写之

勸門主御拝堂記也

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、傍註、見消ち、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期・寛文元年（一六六一）写、楮紙、たて二二・七糎、よこ一六・七糎、半丁 一一行、一行 一八字、墨
付き 一一丁、表紙とも 一三丁、表紙（白色）、原装、

1-11、三ヶ吉事 寺務別当拝堂日記私

一冊

11光・サ・1-11

〔外題〕 三ヶ吉事 寺務別当拝堂日記私

〔表紙
見返し〕 三ヶ吉事等事

凡僧別當拝堂事

寺務拝堂事

西院臨時私願事

後夜御影供出仕事

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、声点、校合註、傍註、

袋綴装、江戸前期写、楮紙、たて二八・五糎、よこ二〇・八糎、半丁 八行、一行 一七字、墨付き 五三丁、表紙とも 五八丁、表紙（黄
土色）、原装、図あり、

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

*目次

1—12、長者継紙留 前大僧正永愿 一冊 11光・チ・1—12

〔外題〕 長者継紙留 前大僧正永愿

*表紙右上に「恵」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 長者継紙之留 勸修寺慈尊院永愿

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、音訓合符、

〔朱点〕 傍注、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二五・一糎、よこ一八・六糎、半丁 八行、一行 一六〇一八字、本文 一一丁、表紙とも 一五丁、表紙（黄色）、原装、

1—13、東寺塔供養記 建武元年 上・中・下 三冊 11光・ト・1—13

〔上巻〕 11光・ト・1—13

〔外題〕 東寺塔供養記 上 建武元年

*表紙右下に「永愿」の墨書あり。ラベルあり。

〔共紙表紙外題〕 東寺塔供養記 上 建武元年

〔内題〕 なし

*巻首に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印・「永愿」の重廓朱八角印あり。

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 已上

上巻 寛正二年 辛巳 十月九日書写之

*巻尾に「東寺別当 永愿」の单廓朱方印あり（たて四・〇糎、よこ三・八糎）。

東寺執行 権大僧都栄増 歳五十四

*裏表紙見返しの下隅に「上」と墨書す。

〔墨点〕 仮名、声点、校合註、傍註、合点、

袋綴装（四針眼訂法）、室町中期・寛正二年（一四六二）写、楮紙、たて二六・八糎、よこ二〇・三糎、半丁 九行、一行 一七〇一九字、本文 三四丁、表紙とも 三八丁、表紙（渋引）、原装、

〔中巻〕 11光・ト・1—13

〔外題〕 東寺塔供養記 中 建武元年

*表紙右下に「永愿」の墨書あり。ラベルあり。

〔共紙表〕 東寺塔供養記 中 建武元年

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

*巻首に「勸修寺 慈尊院」の重廊朱方印・「永愿」の重廊朱八角印あり。

*巻尾に「東寺別当 永愿」の単廊朱方印あり。

裏表紙見返しの左下隅に「中」と墨書す。

〔墨点〕 校合註、傍註、

袋綴装（四針眼訂法）、室町中期・寛正二年（一四六二）写、楮紙、たて二六・八糎、よこ二〇・三糎、半丁 九行、一行 一七〜一八字、本文 三二丁、表紙とも 三四丁、表紙（渋引）、原装、

〔下巻〕 11光・ト・1―13

〔外題〕 東寺塔供養記 下 建武元年

〔共紙表〕 東寺塔供養記 下 建武元年

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 本云

応永五年十月日申三出勝宝院正本「書寫」之

畢文字謬り定可有レ之

法印才大イ都頼暁

*巻尾に「東寺別当 永愿」の単廊朱方印あり。

裏表紙見返しの左下隅に「下」と墨書す。

〔墨点〕 仮名、返点、声点、校合註、傍註、音訓合符、

〔朱点〕 校合註、

袋綴装（四針眼訂法）、室町中期・寛正二年（一四六二）写、楮紙、たて 二六・九糎、よこ 二〇・二糎、半丁 九行、一行 二〇字、本文 三三丁、表紙とも 三六丁、表紙（渋引）、原装、

1―14、長者四人三人例 一冊 11光・チ・1―14

〔外題〕 長者四人三人例

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 東寺長者事

*内題下に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 三寶院権僧正 高賢 年廿八

寛文六年九月廿二日 寺務 宣下

〔墨点〕 校合註、頭註、傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二六・二糎、よこ一九・〇糎、半丁 五〇八行、一行 一九字、墨付き 五丁、表紙とも 八丁、表紙（黄色）、原装、

1—15、護持僧又御持僧口傳故実等 一帖

11光・コ・1—15

〔外題〕 護持僧又御持僧口傳故実等

*ラベルあり。

〔内題〕 なし

〔巻首〕 口云護持僧者奉護持

*巻首上部に「勸修寺 大経蔵」の重廓朱方印（たて三・六糎、よこ二・六糎）あり。

帝王故号護持僧但奉護持

國王故名御持僧是御持僧云事也

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、

粘葉装、室町時代前期写、楮紙、たて十七・五糎、よこ十六・六糎、押界（界高二・九糎 界幅一・九糎）、半丁七行、一行一六字、墨付七丁、表紙とも八丁、共紙表紙、

1—16、長者四人三人例并長者勘例 等

一冊

11光・チ・1—16

〔外題〕 長者四人三人例并長者勘例

*表紙右上に「忍」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。

慈尊院長者加任職事

永愿官位口宣案

永愿加任申狀勘例并加任 宣旨東寺觸狀案

永愿寺務申状勘例

超長者未補上臈任長者例

長者同官之時以戒臈上首為先進例

加任長者非巡道時辞退例并辞状案東寺觸状案

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、傍註、

〔朱点〕 校合註、傍註、合点、項目の頭の丸、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二七・六糎、よこ一九・九糎、半丁 七〇二二行、一行 一五〇二三字、墨付き 二五丁、表紙とも 二九丁、表紙（黄色）、原装、付箋あり（たて二五・六糎、よこ一〇・五糎）、図あり、

1-17、法務饗次第

一冊

11光・ホ・1-17

〔外題〕 法務饗次第

〔内題〕 法務饗次第

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、傍註、

〔朱点〕 校合註、傍註、合点、

袋綴装（四針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二七・五糎、よこ二〇・二糎、半丁 八〇一〇行、一行 一七〇二〇字、墨付き 二二丁、表紙とも 二五丁、表紙（焦げ茶色）、原装、

1-18、一身阿闍梨勘例 等

一冊

11光・イ・1-18

〔外題〕 一身阿闍梨勘例并左大史宣旨持

参作法

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

*巻首に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

*裏表紙にラベルあり。

*表紙右下に「永愿」の墨書あり。ラベルあり。

*巻首に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

仁和寺慈尊院代祖

〔内題〕 一身阿闍梨勘例 出所見「釈氏要覧」

左大史宣旨持参之時作法

仁和寺慈尊院代祖

* 1丁表

* 2丁表

* 3丁表

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、音訓合符、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二三・三糎、よこ一六・八糎、半丁 八行、一行 一五〇一八字、墨付き 五丁、表紙とも 八丁、表紙（黄色）、原装、

1—19、大僧正聖基日記

一冊

11光・夕・1—19

〔外題〕 大僧正聖基日記

〔内題〕 なし

〔巻首〕 大僧正聖基

左大臣隆忠公息

後高倉法皇御猶子

母内大臣實宗公女

貞應元年七月九日始入成實僧正室十九

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二八・五糎、よこ二〇・〇糎、半丁 七行、一行 一五〇二〇字、墨付き 三丁、表紙とも 六丁、表紙（黄色）、原装、

1—20、就高祖八百五十年忌被宣下於一長者留 等

一冊

11光・ツ・1—20

〔外題〕 就高祖八百五十年忌被 宣下於一長者留

被 宣下東寺門徒留

*表紙右上に「禪」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。
*共紙表紙見返しに後高倉院の略歴を記す。外題の筆に同じ。

從東寺年預案内往来留

自惣在應網牒到来并請文留

自先師勸化物献上請取留

從仁和寺大覺寺宮被触諸国令旨留

〔内題〕 就^二高祖八百五十年忌^一一長者報恩

院法務前大僧正宥雅被 宣下留

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 返点、傍注、

袋綴装（四針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二三・五糎、よこ一七・一糎、半丁 八行、一行 八〜一七字、墨付き 一〇丁、表紙とも 一四丁、表紙（黄色）、原装、

1—21、三箇圖并一通往来等留 一冊 11光・サ・1—21

〔外題〕 三箇圖并一通往来等留

〔共紙表
紙外題〕 私拔書

※表紙に目次あり 一三ヶ吉事図事

同威儀師一通事

一 拝堂惣在广一通事

一 法務 宣下賀札返書事

一 法務寛滿三ヶ吉事指図事

一 拝堂諷誦文事

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 本云

応永卅三年三月下旬彼以地

*裏表紙にラベルあり。

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

*表紙右上に「方」の朱書、右下に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

その下に「永愿」の重廓墨八角印（至二・九糎）あり。

*この奥書は、三ヶ吉事図に見られるものである。

門跡御本書寫了予

中之間以他筆寫之

法印権大僧都弘乘

明暦四年四月十三日以惣在廳本令書寫畢 永愿

〔墨点〕 仮名、頭註、傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期・明暦四年（二六五八）写、楮紙、たて二三・四糎、よこ一四・七糎、墨付き 七丁、表紙とも 一二丁、
図二点あり、表紙（黄色）、原装、

1—22、三箇古書奏判事 等 一冊 11光・サ・1—22

〔外題〕 三箇古書奏判事 杲宝記

三箇古事被物代事 水本寛済例

三箇古事餐應被物事 三宝院高實例

東寺講堂修正請定事 慈永愿例

〔内題〕 参賀古書奏判事 杲宝法印記云

水本寛済法務例 三ヶ古事被物代之事

三宝院之時例

延宝三年正月廿八日講堂修正請定東寺職／掌三通持参

* 1丁表

* 2丁表

* 3丁表

* 4丁表

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、声点、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて 二四・〇糎、よこ 一六・九糎、半丁 八・九行、一行 一六字、本文 五丁、表紙と
も 八丁、表紙（黄色）、原装、

1—23、東寺寺務別當等雜記 東寺年中行事 一冊 11光・ト・1—23

〔外題〕 東寺寺務別當等雜記 東寺年中行事

* 表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

* 表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 東寺々務并別當方雜記<sup>〔本十九
五〕</sup> 版

〔尾題〕 なし

*巻首に「勸修寺 慈尊院」の重廊朱方印あり。

〔奥書〕 右一帖者以清浄光院^{〔快玄〕}旧記於妙観院南窓写也

寺務未補之間於別當方之儀者為廿一口年預

令兼帶之間為覚悟書之

文明十八年^{〔丙午〕}二月五日

公遍^{〔生五十五〕}

文龜二年^{〔戊戌〕}三月下旬比以妙観院本令写之□予

去月下旬比別當代令存知之間為覚悟書写之者也

前大僧正

寺務大覚寺准后性染 別當大勝院隆賢法印

執行大法印救賢 目代備後法眼聡秀

権大僧都真海 生四十九

「 26 丁裏

本云

以妙観院法印公遍自筆本書写了

「 27 丁裏

〔墨点〕 仮名、返点、傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二五・一糎、よこ二〇・一糎、半丁 一〇行、一行 二〇字、墨付き 二七丁、表紙とも

三〇丁、表紙（黄色）、原装、

2-1、舞樂曼供記 弘法大師八百年忌 一冊 11光・フ・2-1

〔外題〕

舞樂曼供記 弘法大師八百年忌

七百年

*表紙に「勸修寺 慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔共紙表
紙外題〕

①舞樂曼供記 弘法大師八百年忌

②舞樂曼供 弘延私記

*10 丁表。

〔内題〕

①曼荼羅供次第 有二舞樂ノ儀一

*1 丁表。

②高祖弘法大師八百年忌之御第於東寺有之

*11 丁表。

寛永十一^甲年三月廿日^{斗月曜}同廿一日^{火曜}者恒例之御影

供在之是又同万茶羅供被行之両日大阿闍梨随心院

門跡法務前大僧正増孝^春四十六^秋九條之左大臣禪閣兼孝公

之御息也

③天文三^甲年三月廿日東寺於西院有之同廿一日恒例

御影供有之

高祖大師七百年忌於東寺勅會曼茶羅供職衆

等交名之事庭儀舞樂

〔尾題〕なし

〔奥書〕①永享十一年八月九日於慈心院書写畢

右記者以古本記之但此記者色々事雖有之後々者

此内以用捨之義可被行事无子細歟

* 9 丁裏

寛永九年十月二日以松橋御院家御本書写畢

③右仁和寺真乘院頼惠大僧正以自筆写之畢

* 34 丁裏

本云

寛永十一^甲年七月六日 弘延書之

〔墨点〕仮名、返点、声点、校合註、音訓合符、

〔朱点〕仮名、傍註、句切点、朱引、音訓合符、合点、項目の頭の丸、

袋綴装、江戸前期写、楮紙、たて二八・五糎、よこ二二・一糎、半丁 一〇行、一行 二二〜二四字、墨付き 三四丁、表紙とも 三六丁、

行列の図あり（墨・単色）、雲母引表紙（薄桃色）、原装、

2-2、地藏院方堂上曼供記

奉為後關成院冊三回於
大覺寺宮被行之

一冊

11光・チ・2-2

〔外題〕地藏院方堂上曼供記

奉為後關成院冊三回於
大覺寺宮被行之

*表紙右上に「禪」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 慶安二年^{己丑}八月十六日癸卯日奉為後陽成院三十

三回忌於大覺寺宮道場被行万荼羅供也

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、校合註、傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二七・六糎、よこ一九・八糎、半丁 一〇行、一行 二〇〃二三字、墨付き 二丁、表紙とも 六丁、図面 一点（墨）あり、表紙（黄色）、原装、

2-3、後宇多院御国忌曼供記 導師勝宝院僧正道意

一冊 11光・コ・2-3

〔外題〕 後宇多院御国忌曼供記 導師勝宝院僧正道意

*表紙右上に「禪」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 慶安二 四―廿八日以観智院大経藏本書寫畢

小野末塵権少僧都永愿

〔墨点〕 傍註、合点、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期・慶安二年（一六四九）写、楮紙、たて二六・九糎、よこ二〇・五糎、半丁 八〃九行、一行 一三〃二〇字、墨付き 二丁、表紙とも 二四丁、表紙（黄色）、原装、

2-4、小松寺塔供養曼供記 <sup>内外法則
西西方</sup> 一冊

11光・コ・2-4

〔外題〕 小松寺塔供養曼供記 <sup>内外法則
西西方</sup>

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 河州交野郡小松寺塔供養記 万荼羅供

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 右大概注畢今度儀毎事無為無事 併

大阿闍梨之晝夜勤行所致兼代々祖師之加持擁護
所應也比奥々々努々不可出困外矣

大法師融壽記之生年三十二才 一 13丁裏

今度下向之間自真光院被成奉書 寺務職還補

上者別當同可有還補由自御留守注進申珍重々々 一 14丁表

慶安二 五 二日以觀智院大經藏本書寫畢

小野末塵少僧都永愿生三十 一 14丁裏

〔墨点〕 仮名、返点、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期・慶安二年（一六四九）写、楮紙、たて二七・二糎、よこ二〇・五糎、半丁 九行、一行 二〇字、本文

一四丁、表紙とも 一七丁、図面 四点（墨・朱）あり、表紙（黄色）、原装、

2—5、嵯峨佛母心寺尊性親王卅五日曼供堂上記 地蔵院方 一冊 11光・サ・2—5

〔外題〕 嵯峨佛母心寺尊性親王卅五日曼供堂上記 地蔵院方 *表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 慶安四年^{辛卯}四月廿六日 為前法務佛母心寺二品親王尊性

卅五日追修万茶羅供被行之

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、校合註、傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二七・四糎、よこ二〇・六糎、半丁 一〇〃一一行、一行 二〇〃二四字、本文 二丁、

表紙とも 六丁、表紙（黄色）、原装、

2—6、慈尊院堂供養曼茶羅供大概記 堂^上 寶永六年十一月廿五日 一冊 11光・シ・2—6

〔外題〕 慈尊院堂供養曼茶羅供大概記 堂^上 寶永六年十一月廿五日

〔内題〕 宝永六^巳年十一月廿五日 勸修寺慈尊院堂供養堂

上曼茶羅供大概記

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 宝永七寅年正月十五日 權僧正潤海記之

〔墨点〕 仮名、返点、音訓合符、傍註、

〔朱点〕 合点、項目の頭の丸、

袋綴装、江戸中期・宝永七年（一七一〇）写、楮紙、たて三〇・二糎、よこ二一・二糎、半丁 九行、一行 二二字、墨付き 一〇丁、表紙とも一三丁、図面 三点（墨）あり。表紙（黄土色）、原装、

2―7、高祖八百年忌曼供職衆年戒 一冊

11光・コ・2―7

〔外題〕 高祖八百年忌曼供職衆年戒

*表紙右上に「禪」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 曼荼羅供職衆

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、頭註、傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二八・四糎、よこ二〇・六糎、半丁 六行、一行 一一く一六字、本文 五丁、表紙とも 八丁、表紙（黄色）、原装、

2―8、曼供磬役事・曼供道具覚・五種鈴方角置様圖・色佛供兩界相違事 一冊

11光・マ・2―8

〔外題〕 曼供磬役事

*表紙右上に「禪」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。

曼供道具覚

五種鈴方角置様圖

色佛供兩界相違事

〔内題〕 曼供磬役事

曼供道具覚

（五種鈴方角置様圖）

（色佛供兩界相違事）

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

袋綴装（四針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて 二三・六糎、よこ 一七・一糎、半丁 八行、一行 一五字、墨付き 三丁、表紙とも 七丁、訓点なし、表紙（黄色）、原装、

2-9、曼荼羅供故實等 一冊 11光・マ・2-9

〔外題〕 曼荼羅供故實等

*外題右肩に「勸」の墨書、右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 黄雙紙云

曼荼羅供作法御房

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 大僧正永愿記之

〔墨点〕 仮名、博士、校合註、傍註、

〔朱点〕 句切り点、朱引き、傍註、項目の頭の丸、

袋綴装（四針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二〇・七糎、よこ一四・八糎、半丁 六行、一行 一三字、墨付き 二五丁、表紙とも 二九丁、図面六点（墨）あり、表紙（黄色）、原装、

2-10、曼荼羅供堂上日記（大覺寺佛母心寺尊性 親王卅三回忌 永愿導師） 一冊 11光・マ・2-10

〔外題〕 曼荼羅供堂上日記（大覺寺佛母心寺尊性／親王卅三回忌／永愿導師）

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 天和三年三月廿二日奉為大覺寺佛母心

寺二品親王尊性三十三回忌於大覺寺

宮御所可被行曼荼羅供之旨予

導師之事内々被仰下之處領掌

支度事

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、傍註、

袋綴装（四針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二〇・六五糎、よこ一四・八糎、半丁 六行、一行 一三字、墨付き 一三丁、表紙とも一七丁、

図面二点（墨）あり、表紙（黄色）、原装、

2-11、曼荼羅供次第

平座略儀
西地

一冊

11光・マ・2-11

〔外題〕 曼荼羅供次第

平座略儀
西地

〔内題〕 曼荼羅供次第平座略儀

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 本云

享徳三年以宝泉院本

書寫了 宗壽

未校之

本云

明暦二_丙年姑洗廿三日以

宝嚴院本書寫了

権少僧都了深
廿三

天和三年三月十一日以觀智院本

書寫了

永愿

袋綴装（四針眼訂法）、江戸前期・天和三年（一六八三）写、楮紙、たて一三・七糎、よこ二〇・五糎、半丁 一〇行、一行 八字、墨付
き 九丁、表紙とも一三丁、図面一点（墨）あり、訓点なし、表紙（黄色）、原装、

2-12、曼荼羅供法則

實惠大徳
八百回忌

一冊

11光・マ・2-12

〔外題〕 曼荼羅供法則

實惠大徳
八百回忌

〔内題〕 曼供法則

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 以榮禅僧正自筆次第令書寫了

〔墨点〕 仮名、返点、博士、音合符、傍註、

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

*外題右肩に「勸」の墨書、表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔朱点〕 仮名、返点、音合符、傍註、

袋綴装（四針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて一三・七糎、よこ二〇・六糎、半丁 一〇行、一行 八字、墨付き 一二丁、表紙とも一四丁、表紙（黄色）、原裝、

2—13、八百年忌 曼供色衆留 戒鵬役付 一冊 11光・マ・2—13

〔外題〕 八百年忌 曼供色衆留 戒鵬役付

*表紙右上に「禪」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 曼茶羅供職衆

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、頭註、傍註、

袋綴装、江戸前期写、楮紙、たて二四・四糎、よこ一七・〇糎、半丁 七行、一行 一五字、墨付き 四丁、表紙とも六丁、表紙（クリーム色）、原裝、

2—14、竹田村北向不動堂再営曼供之願文表白等留 就憲深四百五十年忌之曼供従水本往來留 一冊 11光・タ・2—14

〔外題〕

〔村〕

〔再営〕

竹田□北向不動堂□□曼供之願文表白等留

*表紙右上に「禪」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。

〔忌〕

就憲深四百五十年□之曼供従水本往來留

〔内題〕 竹田村北向不動堂再営曼供願文案

*1丁表

（就憲深四百五十年忌之曼供従水本往來留）

*10丁表。「正徳二辰年九月六日也」と註す。

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

*裏表紙にラベルあり。

〔墨点〕 仮名、返点、傍註、音訓合符、

〔朱点〕 合点、

袋綴装（四針眼訂法）、江戸中期写、楮紙、たて二三・八糎、よこ一六・八糎、半丁 八行、一行 一六字、墨付き 一二丁、表紙とも一四丁、

表紙(黄色)、原装、

2—15、御請来鈴五三獨鉈金剛盤輪羯磨鐶柱圖 等

一冊

11光・コ・2—15

〔外題〕 請来鈴五三獨鉈金剛盤輪羯磨鐶柱圖

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。

御請来健陀穀子袈裟横帶圖并由來書

紫震殿御七日金胎両年道場圖 慈尊院永愿

於東寺傳法院愛染御修法道場圖 勤修寺 寛海

太元御修法道場圖 理性院

於東寺灌頂院御修法道場圖 大覺寺宮 尊性

於東寺灌頂院星供御修法道場圖

〔内題〕 ①御請来健陀穀子袈裟寸尺圖

*6丁表

②三国相承健陀穀子袈裟由來之事

*8丁表

③健陀穀子袈裟出書

*10丁表

④紫震殿御修法道場圖 延宝四丙辰年 甲年

*11丁表

⑤紫震殿御修法道場圖 延宝五丁巳年 乙年

*12丁表

⑥太元御修法道場圖 大阿闍梨理性院大僧正

*14丁表

⑦於東寺灌頂堂大覺寺／二品親王御修法道場圖

*15丁表

⑧大壇佛供数事

*19丁表

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 ①延宝五丁巳年正月十三日以 觀覽之序竊記寸尺

*7丁裏

永愿長者時卒爾被留記之依之御請来道具

并御袈裟圖具示置之云

②右者御袈裟裏書也延宝三年正月後七日

*9丁裏

修法之節 永愿被写之云々 性演者安井門跡也

*裏表紙にラベルあり。

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、傍註、訓合符、

〔朱点〕 朱引、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二八・七糎、よこ二三・二糎、半丁 八行、一行 一四〇字、墨付き 一九丁、表紙とも 二五丁、表紙（黄色）、原装、

2-16、加行許可印可自他流傳授分 等 一冊 11光・カ・2-16

〔外題〕 加行許可印可自他流傳授分

津輕最勝院兼密乘院傳授分

高野聖方衆僧四度許可水丁者在別記

并禅林寺在別記

*表紙右上に「カ」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 津輕最勝院兼勸修寺密乘院院

跡并御法流相續傳授記

*12丁表

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、傍註、音訓合符、

袋綴装（仮綴）、江戸中期写、楮紙、たて二四・〇糎、よこ一七・一糎、半丁 七行、一行 一五〇一六字、墨付き 一四丁、表紙とも 二四丁（途中六丁白紙）、共紙表紙、原装、虫損あり、

2-17、勸修寺 慈尊院堂供養記 堂上曼荼羅供 寶永六年拾一月廿五日 全 一冊 11光・シ・2-17

〔外題〕 勸修寺 慈尊院堂供養記 堂上曼荼羅供 寶永六年拾一月廿五日 全

〔共紙表紙外題〕 慈尊院堂供養曼荼羅供大概記 堂上 寶永六年拾一月廿五日 *表紙に「勸修寺 大経蔵」の重廓朱方印あり（たて三・六糎、よこ二・六糎）。

〔内題〕 宝永六年己丑年十一月廿五日 勸修寺慈尊院堂供養

堂上曼荼羅供大概記

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 大阿闍梨権僧正潤海御自筆御本奉拝借之

遂写功者也

正徳二年三月中旬 宣賢上人 生六十

于時

天明四甲辰年三月十三日以竹田不動院之本

書写校合訖

権少僧都

隆賢^{廿八}

〔別筆〕「右記一冊者慈尊院藏^二入之砌^リ見小□子内

於□□中有此本□之様□□□□□□

天保^{丁酉}八年三月十四日 申上□

破戒沙門（花押）

*卷末に「勸修寺 大経藏」の重廓朱方印あり。

〔墨点〕 仮名、返点、音訓合符、傍註、

〔朱点〕 仮名、句切点、音訓合符、項目の頭の丸、

袋綴装、江戸中期・天明四年（一七八四）写、楮紙、たて二六・八糎、よこ一九・九糎、墨付き 一〇丁、表紙とも 一四丁、図面 二点

〔墨〕 あり、表紙（白色）、原装、

2—18、地鎮々壇口説 支度賢瓶輪鐶壇等 一冊

11光・ト・2—18

〔外題〕 地鎮々壇口説 支度賢瓶輪鐶壇等

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 地鎮鎮壇法

*内題下に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 右地鎮々壇支度等以百卷抄内要用

令書写了

寛文十二年四月廿九日 僧正永愿

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期・寛文十二年（一六七二）写、楮紙、たて二七・八糎、よこ一九・六糎、半丁 八行、一行 一八〜一九字、

墨付き 九丁、表紙とも 一二丁、図面二点（墨・朱）あり、表紙（黄色）、原装、虫損大、

2-19、慈尊院祠堂米井宮道社神供置文寫 一冊 11光・シ・2-19

〔外題〕 慈尊院祠堂米井宮道社神口置文寫 (供料)

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 なし *巻首に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 寶永六_{己丑}年四月十三日記之

權僧正潤海

〔墨点〕 仮名、

袋綴装(五針眼訂法)、江戸中期・宝永六年(一七〇九)写、楮紙、たて二八・三糎、よこ二〇・二糎、半丁 八行、一行 一四〇二〇字、墨付き 六丁、表紙とも 九丁、表紙(黄色)、原装、虫損少、

*四項目有り ①本物返田地状之事(1丁表)、②四ヶ所取下作前當口之覚(2丁表)、③永代相渡申田地之事(3丁表)、

④宮道社神供料田地作得米之覚(4丁表)

2-20、仁王経御修法私次第 一帖 11光・ニ・2-20

〔外題〕 仁王経御修法私次第

*外題、題簽に書す(たて七・八糎、よこ二・六糎)、外題右肩に「陽箱」と朱書す。

*表紙右端に「勸修寺／大経蔵」(賢賀筆)の墨書あり。

〔内題〕 仁王経御修法私次第

*巻首に「勸修寺 大経蔵」の重廓朱方印あり。

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 元和七年十一月廿一日 *巻尾に「勸修寺 大経蔵」の重廓朱方印あり。裏表紙にラベルあり。

〔墨点〕 仮名、返点、声点、校合註、頭註、傍註、博士、音訓合符、

〔朱点〕 合点、項目の頭の丸、

折本装、江戸初期・元和七年(一六二二)写、斐紙、たて八・二糎、よこ九・一糎、半丁 六行、一行 七字、墨付き 三八丁、表紙とも 四二丁、表紙・裏表紙とも「五七桐」の紋(薄緑色・後補)、

2—21、享保十一年^西三月十三日 □□□□□書御□□庭儀井□□ 一冊 11光・□・2—21

〔外題〕
(享保十一)

□□□□□年三月十三日

□□□□□書御□□庭儀井□□

〔内題〕 仁和寺宮 勅會傳法灌頂次第

勅會 仁和寺宮御灌頂御列

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。
*1丁表
*9丁表

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 校合註、傍註、

〔朱点〕 合点、

袋綴装(五針眼訂法)、江戸中期写、楮紙、たて二三・二糎、よこ一六・八糎、半丁 六行、一行 一五〜一八字、墨付き 二〇丁、表紙とも 二三丁、表紙(黄色)、原装、訂正の付箋多数あり、

3—1、御再興已来 後七日御修法請僧交名 第一・二・三・四 四冊 11光・オ・3—1

【第二】 11光・オ・3—1

〔外題〕 御再興已来 後七日御修法請僧交名第一

*表紙右上に「意」の墨書、右下に「大経蔵」の墨書あり。ラベルあり。表紙は賢賀筆なり。
*表紙に「元和 寛永/正保 慶安/承應 明暦/以上三十六年分」の墨書あり。

〔表紙見返し〕 後七日自寛正二年至元和八年凡百六十二年退轉

元和九年後七日御再興追長祿之例於紫宸殿被行之
考甲乙胎藏被修了義演拜任中四年後七日御修

御再興以来接紙以當寺寶藏之正紙令智等房
遂書写了毎年正月可書加之也忽忘

享保八癸卯年十二月七日 法印賢賀

〔内題〕 後七日御修法請僧交名

〔巻首〕 元和九年 癸亥

三寶院準三后義演

*巻首1丁表く4丁裏に、年と大阿闍梨を書きだした目次あり。

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

*最後は、明暦四年（一六五八）。

〔朱点〕 仮名、返点、校合註、傍註、音訓合符、朱引、合点、項目の頭の丸、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸中期写、楮紙、たて二九・〇糎、よこ二〇・五糎、半丁 一〇行、一行 一八く二〇字、墨付き 五二丁、表紙とも五七丁、表紙（黄土色）、原装、

【第二】 11光・才・3―1

〔外題〕 御再興已来 後七日御修法請僧交名第二

*表紙右上に「意」の墨書、右下に「大経蔵」の墨書あり。ラベルあり。表紙は賢賀筆なり。

*表紙に「萬治 寛文／延寶 天和／貞享 元禄／以上四十四年分」の墨書あり。

〔内題〕 後七日御修法請僧交名

〔巻首〕 萬治二年 己亥

*巻首1丁表く5丁表に、年と大阿闍梨を書きだした目次あり。

報恩院前大僧正寛濟

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

*最後は、元禄十五年（一七〇二）。

〔墨点〕 校合註、

〔朱点〕 仮名、校合註、頭註、傍註、項目の頭の丸、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸中期写、楮紙、たて二九・一糎、よこ二〇・五糎、半丁 一〇行、一行 一七く二二字、墨付き 八四丁、表紙とも九四丁、表紙（黄土色）、原装、

【第三】 11光・才・3―1

〔外題〕 御再興已来 後七日御修法請僧交名第三

*表紙右上に「意」の墨書、右下に「大経蔵」の墨書あり。ラベルあり。表紙は賢賀筆なり。

*表紙に「元禄 寛永／正徳 享保／元文 寛保／延享」の墨書あり。

〔内題〕 後七日御修法請僧交名

〔巻首〕 元禄十六年 癸未

尊壽院前大僧正隆證

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔朱点〕 仮名、返点、校合註、頭註、傍註、項目の頭の丸、

*最後は、延享四年（一七四七）。

袋綴装（五針眼訂法）、江戸中期写、楮紙、たて二九〇糎、よこ二〇・四糎、半丁 七〇九行、一行 一七〇一九字、墨付き九四丁、表紙とも 九六丁、表紙（黄土色）、原装、

【第四】 11光・才・3―1

〔外題〕 御再興已来 後七日御修法請僧交名第四

*表紙右上に「意」の墨書、右下に「大経蔵」の墨書あり。ラベルあり。表紙は賢賀筆なり。

*表紙に「延享 寛延／寶暦」の墨書あり。

〔内題〕 後七日御修法請僧交名

〔巻首〕 延享五年 戊辰

*巻首1丁表〜5丁裏まで目次にあてるも、この一年だけで、あとは白紙。

菩提院僧正榮遍

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

*最後は、宝暦十二年（一七六二）。

〔朱点〕 傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸中期写、楮紙、たて二八・九糎、よこ二〇・四糎、半丁 九行、一行 一三字、墨付き 三二丁、表紙とも 七二丁（二〜五丁・三六丁以下は白紙）、表紙（黄土色）、原装、

3―2、後七日御修法記 上 一冊 11光・才・3―2

〔外題〕 後七日御修法記 上

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔共紙表
紙外題〕 後七日法 上

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 寛文九年九月廿九日以長吏大經藏覺禪抄之

内本書写也

助筆 壽円

〔墨点〕 校合註、頭註、

袋綴装、江戸前期・寛文九年（二六六九）写、楮紙、たて二七・七糎、よこ二一・四糎、半丁 七行、一行 一八字、墨付き 三三丁、表紙とも三四丁、表紙（黄土色）、原装、

3—3、延宝五年 後七日記

重本

胎界 永恵

一冊

11光・コ・3—3

〔外題〕 延宝五年 後七日記

重本

胎界 永恵

*表紙右上に「恵」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸中期写、楮紙、たて二一・六糎、よこ一五・六糎、半丁 六行、一行 一四〇一八字、墨付き 一七丁、表紙とも 二〇丁、表紙（黄色）、原装、

3—4、延宝六年 後七日記

重本

一冊

11光・コ・3—4

〔外題〕 延宝六年 後七日記

重本

*表紙右上に「恵」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 延宝六年^{戊午}正月後七日御修法日記

金剛界

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、傍註、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二五・七糎、よこ一八・七糎、半丁 六〇七行、一行 一六〇一八字、本文 五丁、表紙とも 八丁、表紙（黄色）、原装、

3—5、御修法記 不動 一冊 11光・ミ・3—5

〔外題〕 御修法記 不動

*外題右肩に「陽箱」の朱書、表紙右下に「勸修寺／大経蔵」(賢賀筆)の墨書あり。
ラベルあり。

*共紙表紙の内につぎの紙片あり(たて一四・七糎、よこ三・五糎)。

〔東寺西院

不動明王御修法私記」

*巻首に「勸修寺 大経蔵」の重廓朱方印あり。

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 右修中日々要々記之不可及外見

為報恩謝徳奉納大経蔵畢

延宝二年九月十一日 法務僧正永愿 五行
十五年

〔跋文〕 右一帖臨時御修法勤行之節肝要之記也

加修治収大経蔵了尤不可許他之借出矣

延享第二歳在乙丑二月望日僧正賢賀 俗書
六十二

〔墨点〕 仮名、傍註、

〔朱点〕 仮名、傍註、

袋綴装(四針眼訂法)、江戸前期・延宝二年(一六七四)写、楮紙、たて二七・二糎、よこ一九・三糎、半丁 八行、一行一七〜一八字、

墨付き 一五丁、表紙とも一七丁、図面 二点(墨・朱)あり、表紙(黄色・後補)、

3—6、延宝元年 東寺西院 不動明王御修法私記 七ヶ寺
御折禱

〔外題〕 延宝元年 東寺西院

不動明王御修法私記 七ヶ寺
御折禱

寛文十三年

〔共紙表
紙外題〕

東寺傳法院御修法日記

一冊 11光・ト・3—6

*外題の「延宝元年」、朱の上に重ねて墨書す。

表紙右上の「寛文十三年九月廿一日改元」、朱の上に重ねて墨書す。

表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。見返しに「息災コマ葉種等之事」を記す。

本尊不動也

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 右修中日々要々記之 重々校合

可有也 不及外見者也

寛文十三年六月三日 法務僧正永愿

〔墨点〕 仮名、校合註、傍註、

〔朱点〕 仮名、校合註、傍註、

袋綴装（仮綴）、江戸前期写、楮紙、たて二八・三糎、よこ二一・三糎、半丁 七行、一行 一六〇一七字、墨付き 一四丁、表紙とも 一六丁、
図面二点（墨・朱）あり、表紙（黄土色）、原装、

3—7、延命御修法記 寛文十三年

一冊

11光・エ・3—7

〔外題〕 延命御修法記 寛文十三年

*外題右肩に「陽箱」の朱書あり。外題の「寛文十三年」も朱書。

表紙右下に「勸修寺／大経蔵」（賢賀筆）の墨書あり。ラベルあり。

*巻首上端に紙片「寛文十三年 延命御修法日記」を貼る（たて十四・七糎、よこ

一・四糎）。内題下に「勸修寺 大経蔵」の重廓朱方印あり。

〔内題〕 延命御修法事

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 延命御修法日記為報恩奉納大経蔵畢

延宝二年九月十二日 法務僧正永愿

〔跋文〕 右一帖當流延命御修法勤行之砌肝

要之記也不可許借出他見焉遂修復

収大経蔵箱底了

延享第二歳次乙丑仲春十一日僧正堅賀

世壽
六十二

〔墨点〕 仮名、

〔朱点〕 仮名、傍註、合点、

袋綴装（四針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて 二七・一糎、よこ 一九・〇糎、半丁 八行、一行 一八字、墨付き 一二丁、表紙とも一三丁、図面 三点（墨）あり、表紙（黄土色・後補）、

3—8、後七日法伴僧交名裏書等 一冊 11光・コ・3—8

〔外題〕 後七日法伴僧交名裏書等

*外題右肩に「恵」の朱書、表紙右下に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印、その下に「大僧正永愿」の墨書あり。

表紙上部に「寛文九年／延宝二年／同 三年／同 四年／同 五年／同 六年」の墨書あり。ラベルあり。

*表紙上部に「寛文九年 于時二長者／延寶二年 寺務／同 三年 同／同 四年 同」、右下に「法務僧正（花押）」の墨書あり。

〔共紙表
紙外題〕 後七日御修法伴僧交名裏書等

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、傍註、音訓合符、

〔朱点〕 傍註、合点、

袋綴装、江戸前期写、楮紙、たて 二八・六糎、よこ 二二・二糎、半丁 九〇行、一行 一八字、墨付き 一二丁、表紙とも 一六丁、表紙（雲母引き・薄桃色）、原装、

3—9、東寺御影堂不動法一七ケ日私日記 一冊 11光・ト・3—9

〔外題〕 東寺御影堂不動法一七ケ日私日記 延宝五丁巳年
七ヶ寺御所

〔内題〕 なし

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 延宝五年八月十三日書之重可有校合者也

法務僧正永愿 五行
五十八年

〔墨点〕 仮名、返点、校合註、傍註、

〔朱点〕 傍註、

袋綴装、江戸前期・延宝五年（一六七七）写、楮紙、たて二八・一糎、よこ二一・六糎、半丁 一〇行、一行 一九字、墨付き 一二丁、表紙とも 一二丁、表紙（雲母引き・薄桃色）、原装、

3—10、修要鈔拔書

雜例部
諸御修法部

一冊

11光・シ・3—10

〔外題〕 修要鈔拔書

雜例部
諸御修法部

*表紙右下に「慈尊院」の墨書あり。ラベルあり。

〔内題〕 修要鈔拔書 雜例部

*一丁表。一丁と二丁の継なぎ目に「勸修寺 慈尊院」の重廓朱方印あり。

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 なし

〔墨点〕 傍註、

〔朱点〕 合点、

袋綴装（五針眼訂法）、江戸前期写、楮紙、たて二三・八糎、よこ一六・八糎、半丁 八行、一行 一八字、墨付き 一七丁、表紙とも 二三丁、表紙（黄色）、原装、

3—11、表紙 断簡

一枚

（番号なし）

〔外題〕 □□□□供次第 不空羅索

楮紙、たて一七・三糎、よこ一八・八糎、表紙のみ、

*表紙右上に「願」の朱書、右下に「慈尊院」の墨書あり。

3—12、断簡

一紙

（番号なし）

断簡 一紙、たて一五・七糎、よこ七・一糎、墨点（仮名）あり、

〔文字情報〕「 虚空藏———」

西ノ院法劍秘決云両宮

深尺 兩卷也 諸佛如来深智
大師記

一切衆生父母文

傳云依此口決文大師ノ御記ナルコト決セリ」の墨書有り。

4、結縁灌頂記 一軸

11光・ケ・4

〔外題〕 口

口

口

口

〔端裏書〕 結縁水丁記

栄禪

〔内題〕 なし

〔巻首〕 寛永十九^{壬午}六月一日 院宣為来七月三日於

院御所為 中和門院十三回忌聖忌可被

行曼荼羅供者可為大覺寺宮御導師

〔尾題〕 なし

〔奥書〕 抑今度一會事始終無一事異乱被遂

大會之條可謂自門之面目是

禪定法皇冥助而已予

今被令值遇大功之一會条儀可謂生前大幸

令為備後日之癡忌所及愚見聊注

梗概了

寛永十九八月日

権僧正一

〔跋文〕 寛延第三歲次庚午十月晦日

加繕裝了

僧正賢賀 俗齒六十七

〔墨点〕 校合註、傍註、

〔朱点〕 傍註、

卷子本、江戸前期・寛永十九年（一六四二）写、楮紙、たて二五・〇糎、よこ八〇・三糎（本文二三紙）、無界、図面 一点（道場図、墨・朱、第一〇〇一一紙）あり、後補表紙（クリーム色）、後補軸（桧カ）、紐（長さ 五六・〇糎、幅〇・六糎・緑と白の組紐）、
*各紙の長さはつぎの通りである。

表紙 二二・一糎、

*ラベルあり。

第一紙	三五・六糎、	第二紙	三四・四糎、	第三紙	三四・六糎、	第四紙	三四・八糎、
第五紙	三五・〇糎、	第六紙	三四・九糎、	第七紙	三四・九糎、	第八紙	三四・七糎、
第九紙	三四・五糎、	第一〇紙	三五・四糎、	第一一紙	三六・〇糎、	第一二紙	三五・〇糎、
第十三紙	三四・五糎、	第十四紙	三四・八糎、	第十五紙	三五・七糎、	第十六紙	三五・〇糎、
第十七紙	三五・三糎、	第十八紙	三四・九糎、	第十九紙	三五・三糎、	第二〇紙	三五・〇糎、
第二一紙	三五・二糎、	第二二紙	三一・九糎、				
軸付紙	一四・四糎、						

*第十一箱・箱に関するデータ

箱の一側面に、「禪」の墨書と「第十一函」と墨書した貼り紙あり（たて九・六糎、よこ七・五糎）。
反対側の側面に、左の墨書を記した貼り紙あり（たて九・七糎、よこ七・五糎）。

「第十一函

一身阿闍梨 長者拝堂記

後七日御修法等